



ei7a サンフランシスコ

2013 年度 後期授業案内

1710 S. Amphlett Blvd.,#120
San Mateo, CA 94402
TEL 650-235-3410
FAX 650-235-3412
enasf@msn.com

2013 年度年間予定表

2月	7日(木)	前期授業開始	8月	20日(火)	後期授業開始
3月	9日(土)	小4~6 第1回学力判定テスト		31日(土)	小4・5 第6回学力判定テスト
	16日(土)	小5・小6 帰国生模試	9月	14日(土)	小6 帰国生模試
	23日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		21日(土)	小6 第1回合格判定模試 中3 第1回合格判定模試
4月	1日(月)~ 6日(土)	春期講習会		28日(土)	中1・2 学力判定テスト
	6日(土)	小4~6 第2回学力判定テスト	10月	5日(土)	小4・5 第7回学力判定テスト 小6 帰国生模試
	27日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		12日(土)	中3 第2回合格判定模試
5月	4日(土)	小6 第3回学力判定テスト		19日(土)	小6 第2回合格判定模試 小5 帰国生模試
	11日(土)	小4・小5 第3回学力判定テスト		26日(土)	中1・2 学力判定テスト
	18日(土)	小5・小6 帰国生模試	11月	2日(土)	小6 帰国生模試
	25日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		9日(土)	小6 第3回合格判定模試 中3 第3回合格判定模試
6月	8日(土)	小6 第4回学力判定テスト 小5 帰国生模試		16日(土)	小4・5 第8回学力判定テスト
	15日(土)	小4・5 第4回学力判定テスト 小6 帰国生模試		23日(土)	小6 帰国生模試 中1・2 学力判定テスト
	17日(月)~ 22日(土)	夏期特別講習会	12月	25日(月)~ 30日(土)	サンクスギビング休校
	29日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		7日(土)	小6 第4回合格判定模試 小5 帰国生模試
7月	6日(土)	小6 第5回学力判定テスト		14日(土)	中3 第4回合格判定模試
	13日(土)	小4・5 第5回学力判定テスト 小6 帰国生模試		21日(土)	小4・5 第9回学力判定テスト 中1・2 学力判定テスト
	20日(土)	中1・2・3 学力判定テスト		22日(日)~ 24日(火)	冬期講習会 ↓
	24日(水)	前期授業終了		26日(木)~ 30日(月)	↓ ↓
	25日(木)~ 7日(水)	夏期講習会	1月	31日(火)~ 6日(月)	冬期休校
8月	8日(木)~ 19日(月)	夏期休校		11日(土)	小4・5 第10回学力判定テスト
				18日(土)	小5 帰国生模試
				25日(土)	中1・2 学力判定テスト
				25日(土)	後期授業終了

★ 予定は変更される場合がありますので、月間予定表で必ずご確認ください。



「個性」を育む指導に向かって。

The Shape of Education to Come

einaの前身である「国立学院予備校」が開校したのは1972年のことでした。

爾来、東京国立市を核に受験教育を展開、有数の受験指導塾として、高い支持を戴き、1987年からは、その成果を海外の子どもたちにも提供すべく、活動範囲を世界へと広げてきました。

海外で指導するようになり、さまざまなご要望に応えるなか、私たちは「受験指導」とはちがう教育にも深く関わるようになりました。eina北米が、日本国内の方針から離れて幼稚部を設置し、幼児・低学年教育に力を入れるようになったのも、その一端です。こうした活動を通じて、私たちは、単なる「塾」としてではなく、海外に住んでいる子どもたちに貢献できる「教育機関」として存在する必要性を痛感しました。

海外にお住まいの子どもたちは、それぞれにちがった背景があり、多様な個性が育っています。私たちが指導するにあたって、画一的なカリキュラムではなく、柔軟性をもったコース・デザインが必要です。そのため2010年より、小学校低学年にはベネッセの『グリムスクール』を導入、高学年は『受験クラス』と『基礎クラス』に分けるなど、指導内容の多様化を図りました。

さらに昨年より、算数はレベルの高い内容を学習したいが国語は基礎力を充実させたい、といったご要望にもお応えできるよう、教科ごとにクラスの選択できるように編成しなおしました。お子様の個性に合ったクラス選択の可能性がさらに広がったと考えております。

このように「受験指導塾」を超えた教育機関となるべく努力を積み重ねておりますが、われわれの拠りどころが「受験」にあるという信念は変わりません。「受験」こそが、私たちを鍛えた道場であったからです。とかく、特殊訓練めいたものとして揶揄されがちな「受験勉強」ですが、教育の本質は一つです。むしろ、必ず結果によって評価がくだされる「受験」の中に身をおいてきたからこそ、私たちの「教育者」としての実力が培われたのです。

各教科の本質をつかみ、お子様の個性を見極めて身につけさせる指導は、『受験クラス』でも『基礎クラス』でも、変わりありません。その中身を、ぜひみなさまの目でお確かめください。



英検-集中特別講座

全学年対象

中学受験から大学受験にはもちろん、社会人にとってもその取得意義は大変大きなものです。その勉強方法をこの機会に習得されてみてはいかがでしょうか。

2013年度の試験日程は、6月8日(土)・10月12日(土)、来年1月25日(土)の3回です。1月の準会場での試験を除き、他の試験は全てロサンゼルスで実施されます。「初めて受けるのだけど、2級だけでロサンゼルスまで行くのでは少し物足りないな。なんとか準1級もチャレンジしたい。」という方はいらっしゃいませんか。

enaでは、今年度『2級』・『準1級』クラスを開講します。しっかり2級の知識をつけた上で、徐々に準1級レベルの問題にチャレンジしていきます。各試験日程に合わせた数ヶ月の集中講座の中で、英検特有の熟語、語彙対策・長文読解のためのキーとなる単語の見つけ方・準1合格に不可欠なWriting指導を中心に行います。

●英検（実用英語技能検定）の必要性

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を的確に評価し、実社会で役立つ「世界レベルの英語力」を測る資格試験。入試や海外留学、企業など社会で広く認められている日本国内最大規模の検定試験です。

2級—高校卒業程度 準1級—大学中級程度 1級—大学上級程度

●帰国生にとっての利点

- ・ 日常使っている英語力を客観的な試験を通して試すチャンスです。帰国生としてどれだけ英語ができるのかを形として表す指標の一つになります。
- ・ 入試に有利。特に中学帰国生入試では英検準1級はもっていて当たり前。難関中学へも英検保持者（特に1級保持者）は数々の栄光に輝くという過去実績があります。
- ・ 受験の際に、英検保持者に対し優遇制度をとる中学・高校・大学があります。
- ・ 高校や大学の単位として認定されているところもあります。

授業日程

	講座	期 間	曜日	時間	授業分数
①	準1級	8月22日～10月10日	木	19:00～20:30	80分×8日

- お申込状況により、講習内容が変更される場合があるので、お申込の際には、校舎までご連絡の上、クラス内容についてご確認下さい。

幼稚部



バイリンガルは、放っておいては育ちません。アメリカに住んでいるからこそ、本物のバイリンガルになるための日本語教育が大切なのです。

eina 幼稚部では、アメリカにいるとなかなか触れることのできない日本の行事や歌、手遊びを学び、言葉の読み書きを楽しく元気に勉強していきます。バイリンガルになるための、**eina** からの提案です。

ぐんのび (4歳～6歳)

就学前から、日本語をしっかり身に付けておきましょう

日本語で聞いた内容を、日本語で考え、日本語で表現する経験を大事にするクラスです。

アメリカに住んでいると、きれいな日本語で考えたり学んだりする機会が減ってしまいます。英語環境で頑張っているお友だちは特に、日本語の文の中に英語が混ざってしまいがちです。

ぐんのびクラスでは日本語への関心を育て、書くこと、読むこと、学ぶことへの意欲を引き出します。楽しい環境の中で、思ったことを元気に発言して、感じたことを言葉に表しましょう。自分達と同じ環境のお友だちと一緒に勉強をすることで、「英語も日本語も頑張るって当然」という意識が身につきます。また、行事、数、自然や科学への関心も養い、さらに、就学前に身につけておくべき学習態度も指導いたします。

キンダーに入ると英語の宿題が大変で……と思いがちですが、だからこそ、この時期に、英語と日本語を両立させる基礎を身につけましょう。就学前の頑張りや、小学校入学後の学力に大きく影響します。

内容：音読・知育・絵日記・昔話・季節の行事など
ひらがなの読み書き
数の概念



授業時間帯

年齢	科目	曜日	時間帯	授業分数/週
4歳～6歳 (年中・年長)	ぐんのび	水	14:00～15:00	60分
		水	17:50～18:50	60分
		金	14:20～15:20	60分
		土	14:30～15:30	60分

小学部(1～3年)



最近、日本の受験塾も小学校1～3年生の授業をするようになりましたが、実は受験塾は低学年指導が苦手。小学校低学年と高学年は、本質的に指導方法が異なります。小学校5・6年生中心の受験塾が指導することには、無理があります。

では、**eina**も？

einaは、幼児教育の専門家を講師陣に加えて、低学年教育の研究を重ねてきました。

その結論が、**ベネッセグリムスクール**の導入です。

日本語と疎遠になりがちな環境だからこそ、**eina**の存在意義が高まります。

国語

読む力、書く力、聞く力、話す力が楽しく身につく!

ベネッセグリムスクール

初級・中級(小1～小4年)

『グリムスクール』は、「進研ゼミ」でおなじみのベネッセが開発した、新しい読書プログラムです。

子どもたちが飽きずに楽しく学ぶための工夫を随所にちりばめ、すべての子どもたちが自分の得意分野で「輝く瞬間」を体験できるように、さまざまな要素の教材が用意されています。楽しいだけでなく、「読む・書く・聞く・話す」の4つの力をバランスよく伸ばすのも、このグリムスクールの特徴です。

小学1、2年では、この『グリムスクール』を「国語」学習の中心にすえ、**eina**独自の工夫も加えて子どもたちの国語力を伸ばしていきます。

漢字教室(小1～小4年)

『グリムスクール』は、興味を持って、楽しく授業を進めるプログラムなので、漢字などの「訓練」が意図的に軽くなっています。それを補うものとして、「漢字教室」の設置です。各学年で学ぶ文字、漢字をしっかり身につけ、文章で使えるようになるためのグリムスクールのためのクラスです。(小3国語、小4国語を受講されない方はこちらで漢字を学習して下さい。)

小3国語

『グリムスクール』で読書に慣れたら、少しずつ「勉強」に進んでみましょう。

『話し言葉の世界から少しずつ書き言葉の世界に導く』ことを念頭におき、やさしい文章を中心に文章を読み解く練習をしていきます。また、『声に出す』ことを重視、音読を積極的に取り入れています。

3年生は、この授業だけで「国語」能力には十全となるようカリキュラムを組みますが、もちろん、『グリムスクール』と同時履修もできます。

算数

1・2年生

文章問題に重きを置き、まずは問題文の理解力を上げる勉強を中心に進めていきます。教室内の全ての説明、会話はもちろん日本語です。

3年生

ノートのとりの練習をはじめ、基本問題から応用問題まで幅広く取り組みます。計算問題から、実際に定規やコンパスを使うような図を扱う問題等を含む、基本を重視したプログラムです。

授業時間帯

曜日	時間帯		
火	小2算数 15:40~16:20	小2漢字教室 16:30~17:00	グリム初級 17:10~18:10
水	小1算数 15:10~15:50	小1漢字教室 16:00~16:30	グリム初級 16:40~17:40
金	小3国語 15:30~16:30	小3算数 16:40~17:40	グリム中級 17:50~18:50
金	小2算数 15:40~16:20	小2漢字教室 16:30~17:00	グリム初級 17:10~18:10

土曜コース

土	小1漢字教室 9:30~10:00	グリム初級 10:10~11:10	小2漢字 11:20~11:50
土	グリム中級 12:00~13:00	小3・4漢字教室 13:10~13:40	

授業時間数

科目
授業分数
グリムスクール初級 60分
グリムスクール中級 60分
小1~小4漢字教室 30分
小1・小2算数 40分
小3国語 60分
小3算数 60分



小学部(4~6年)



いよいよenaの本領発揮、小学校高学年です。

えっ、受験しないから、enaは関係ない？ いえいえ、受験しなくても、enaなのです。

長年受験指導に携わってきた過程で、「基礎」が奥深い内容を持っていることに、私たちは気づかされました。中学入試の問題は、その難しさばかりが喧伝されますが、実はそれぞれの教科の「本質」を理解しているかを試そうという、出題者の涙ぐましいばかりの工夫が横溢しています。そのような問題の研究を重ねてきた私たちは、やさしい内容の反復練習ではなく、「本質」に近づく努力こそが「基礎」に他ならないと実感しました。高いところから俯瞰するからこそ、「本質」を見通すことができるのです。

enaの授業時間は、決して長いものではありません。その短い時間で合格する力を養えるのは、「本質」を指導するからです。そのノウハウを、受験生だけに独占させておくのは、もったいなさすぎます。

●『基礎からしっかりコース』

国語

「国語」という教科は、ことばの学習であると同時に、文化の学習でもあります。子どもたちの精神成長を促すような文章を読みながら、「読解力」と「漢字＝語彙力」を、その子に即したレベルで養成していきます。根本的な国語力の底上げに大いに役立つ『文章の音読』にも積極的に取りくみます。

算数

算数の基礎をしっかりと身に着けるよう心がけますが、何よりも算数の「面白さ」を知ることが重視されます。各学年、週1回の授業で基本問題から応用問題まで幅広く取り組めるカリキュラムをご用意しております。教科書だけの勉強では身につけることの出来ない算数の面白さを体験して下さい。

●『受験コース』

国語

根本的な言語思考能力は13歳で完成するという観点から、中学入試問題は公立高校の入試問題と同レベルの思考力が要求されます（漢字＝語彙に制限がかけられ、抽象的な思弁性が避けられているところに違いがありますが）。過去の入試問題の出典を中心に、大人の世界につながる読解力＝思考力と、入試を突破する漢字＝語彙力を養成します。

算数

4年生から中学受験勉強に入る準備に入り、教科書レベルを超えた受験問題を中心に扱います。6年生の前期までに一通りの全ての単元を終え、後期は各単元の総復習、更に中学受験に対応した実戦的問題中心の授業に推移します。

● 理科・社会・受験英語

理 科 (対象：4年生～6年生)

理科は教科書の中だけの世界では無く、身の回りの多くの事が理科に関係しており、色々な自然現象そのものが理科そのものであることを認識し、まずは興味を持つことを第一とし、その上で知識を深めていくことを目指します。夏期特別講習では例年、『理科実験教室』を開催しています。

社 会 (対象：4年生～6年生)

基本的に『興味を引き出す』ことを重視し、『子どもが理解できる言葉』で説明し、いろいろなエピソードを紹介しながら、子どもたちの『へえ～、そうなんだあ。。。』という表情を大切に、『楽しみながら』学べるような授業を展開してまいります。

現地校では学べない日本の地理、歴史をしっかりと身につけて下さい。

英 語

中学受験英語 (対象：6年生)

名門中学校受験に向けての対策です。中学受験の英語は、範囲が決まっておらず難しいといわれています。Essayの書き方対策、英検準一級程度の語彙力や熟語力の習得、長文読解を強化することを目標にしています。受験近くになれば、名門中学の過去問を使って授業を進めていきます。

授業時間帯

コース	科 目	曜日	時 間 帯	分 数
基礎からしっかりコース	小4国語	水	15:20～16:50	80分
	小4算数	金	16:10～17:40	80分
	小5国語	金	16:10～17:40	80分
	小5算数	金	17:50～19:20	80分
	小6国語	木	16:10～17:40	80分
	小6算数	水	16:10～17:40	80分
受験コース	小4国語	火	17:50～19:20	80分
	小4算数	火	16:10～17:40	80分
	小5国語	水	17:50～19:20	80分
	小5算数	木	16:10～17:40	80分
	小6国語	火	16:10～17:40	80分
	小6算数	土	11:10～12:40	80分
	中学受験英語	火	17:50～19:20	80分
理科・社会	小4	水	17:00～18:30	各40分
	小5	木	17:50～19:20	各40分
ベネッセ  グリムスクール 	中級	金	17:50～18:50	60分
	中級	土	12:00～13:00	60分
漢字教室	小3・小4	土	13:10～13:40	30分

中学部



国語

各学年とも、テキストは、ほとんどが過去に出題された入試問題で構成されており、論説・評論文、物語文、詩・短歌・俳句、古文、国文法、文学史に至るまで、高校受験対策をメインにした授業をおこなっております。そして、小学部同様、漢字力の養成を重視するとともに、高校入試レベルの文章を読み解いていくのに必要な読解用のボキャブラリービルディングにも力を入れていきます。また、高校受験はしない場合でも、この読解用のボキャブラリービルディングをしておく、高校レベルの現代文読解にも、そしてその先にある日本語小論文の学習にも大いに役立ちますので、将来帰国枠を使って日本の大学受験をお考えの方にもおすすめです。

数学

教科書から受験に対応した発展問題まで幅広く、数学の基礎力、応用力の確実な習得を目指します。数学の解法は決して1つではありません。教科書では学べないテクニック（よりシンプルに、より早く、より正確な答えを導き出す）の指導を重視します。中1から中3の夏休みまでに、すべてのカリキュラムを終え、夏以降は演習、過去問を中心に、より実践的な問題に取り組みます。

英語

必修英文法Ⅰ（対象：中学1・2年生）

日本語で英語の文法を学びます。日本の中学に編入する際、また、高校入学時には、日本語での文法の実践力が必要になってきます。文型、態や現在完了など、ゼロから文法を学び、普段使っている口語表現（通じるだけの英語）ではなく、きちんとした文法知識の獲得を目標にしています。

必修英文法Ⅱ（対象：中学2・3年生）

必修英文法Ⅰの応用編となります。『現地校で問題が無い・英語で難なく話せる＝英文法を正しく理解している』では決してありません。日本帰国時に、帰国子女として胸を張れるよう、中学の間に正しい文法を身につける必要があります。後期には、現在完了の応用や仮定法、強調構文なども取り扱います。

ハイレベル受験英語（対象：中学3年生）

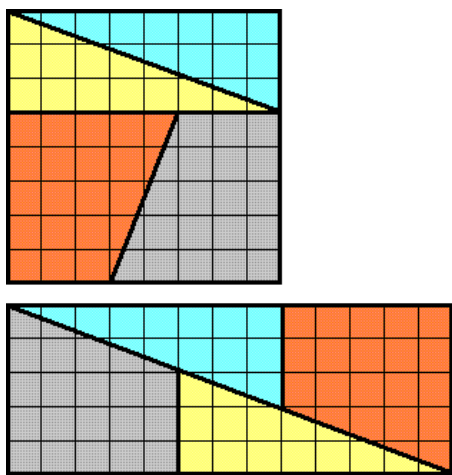
基本的な中学英文法は勿論、英検準1級程度の英語力を持つ生徒を対象とした、早慶、渋谷幕張など英語の入試問題が難しいとされる高校合格に向けての受験対策授業です。まずは、過去問を解きながら問題に慣れ、その上で、各高校の問題の傾向を掴み、自分なりの読解スタイルを身につけるのを目的とするクラスです。

理 科

理科は教科書の中だけの世界では無く、身の回りの多くの事が理科に関係しており、色々な自然現象そのものが理科そのものであることを認識し、まずは興味を持つことを第一とし、その上で知識を深めていくことを目指します。一般常識としての知識から、日本の教育水準に合わせた授業です。

社 会

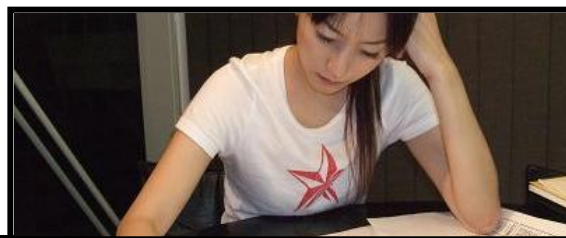
無理なく一般常識レベルの社会科の知識を身につけることを目指し、地理的分野を中1で、歴史的分野を中2で、公民的分野を中3で学習してまいります。授業では多くのエピソードを紹介しながら説明し、『そういうことだったのか……面白いなあ』と興味を広げる内容の授業を行います。



授業時間帯

学 年	科 目	曜 日	時 間 帯	授業分数
中 1	数学	火	19 : 30～21 : 00	80 分
		土	15 : 00～16 : 30	
	国語	金	17 : 50～19 : 20	80 分
		土	13 : 20～14 : 50	
理科・社会	金	19 : 30～21 : 00	各 40 分	
中 2	数学	火	17 : 50～19 : 20	80 分
	国語	木	19 : 30～21 : 00	80 分
	理科・社会	木	17 : 50～19 : 20	各 40 分
中 3	数学	土	13 : 20～14 : 50	80 分
	国語	土	15 : 00～16 : 30	80 分
	理科・社会	金	19 : 30～21 : 00	各 40 分
英語	必修英文法Ⅰ	火	16 : 10～17 : 40	80 分
	必修英文法Ⅱ	火	19 : 30～21 : 00	
	ハイレベル受験英語	木	16 : 10～17 : 40	

高校部



【小論文インプット講座】

『書くためには、まず読めなければならない』。

つまり、何かを書くためには、書くに値する知識・情報を書き手が持っているというのが大前提となります。自分の中にトポス＝知の枠組みをしっかりと構築することで、発想力・論理的思考力を拡大させながら、同時に書く練習を進めていくというのが最も効果的な小論文学習法であると言えます。それを実現するために、昨年度より『小論文インプット講座』を開設いたします。

この講座では、大学入試の現代文の出典となった文章を読み進めながら、小論文に頻出の分野について、内容を深く理解するための背景知識を蓄えながら、幅広く文章を読みこむ訓練をおこないます。さらに、読んだ内容を自分の使える知識として蓄えるため、自分でまとめなおす要約作業をおこない、文章表現力も高めていきます。もちろん、早稲田大学の帰国生共通試験『現代文』対策やその他の大学の『現代国語』対策もカバーしています。アカデミックな文章を理解するうえで必須となる読解用語 vocabulary building によって、知の perspective を構築しよう！

【小論文アウトプット講座】

近年さまざまな大学でよく出される読解型小論文問題の対策をメインに授業をおこないます。読解型小論文の場合、まず与えられたテーマに関して書かれた文章を正確に読み取り、そこから論点を自分でえぐりだし（＝自分は何を問題にしたいのかを明確にし）、それに対して自分なりの解答を与えるというプロセスをしっかりと身につけなくてはなりません。そのため、このクラスでは、小論文で取り上げられる頻出テーマに関して、膨大な資料や文書を読んで、内容を分析し、自分で問いを立てて、自分なりの解答（考察）を文章にするアウトプット訓練を徹底的におこないます。この作業は、慣れるまでは正直しんどい作業となりますが、それを乗り越えようとする意志を持った生徒たちの参加をお待ちしております。

【TOEFL】

TOEFL で必要とされる 4 技能 : Reading, Writing, Speaking, Listening 能力を高めるクラスです。生徒各々の弱点を見つけ、それを伸ばしていく手助けをします。大学入学時に、スコアを求められることが多々あります。ひとまずは 100 点突破を目標としますが、大学によっては、それ以上必要なところもありますので、早めに志望大学を決め目標点数を定めることをお勧めします。

【SAT Reading, Writing & Math】

アメリカの大学のみならず、日本の大学でも SAT のスコアの提出が求められます。Reading では語彙力を

高め、長文読解能力を高めます。**Writing** では、文法問題を中心に行います。**Essay** は構成の仕方のみならず、どんな題材が来てもアイデアが浮かび、よりよいものが書けるようになることを目標としています。

Math のクラスでは解き方を工夫すればその問題レベルは、ほぼ小学生から中学生レベルが中心です。ただ、英語独自の言い回し、数学用語をきちんと理解しないと高得点は取れません。傾向をつかみ効率的な点数の取り方を訓練します。

【国語総合Ⅰ】

このクラスでは、将来本格的に大学受験レベルの現代文読解＋小論文に取り組んでいくために必要な『読む力』と『書く力』の土台作りを行います。

『読む力』については、学者・作家・ジャーナリストといった知的プロフェッショナルが書いたアカデミックな文章から、手に入れるべき『情報』を確実に読み取り自分のものにできる読解力の育成を目標とします。また、彼らがよく使う語彙や思考・思想の背景がある程度わかってないと内容把握が難しくなる傾向がありますので、読解用 vocabulary building や社会思想・歴史・政治経済・地理といった社会的な学習もあわせて行います。読む作業を通して、『そもそも、〇〇の本質って何だろう?』という哲学的な思考態度を持つことの大切さもアピールしていきます。

『書く力』については、教育漢字の復習（意味による使い分けができ、確実に書けるレベルにする）から始めます。また、記述問題や要約を通して、記述力にも磨きをかけていきます。

【国語総合Ⅱ】

『国語総合Ⅰ』のクラスで取り組んできた『読解用 vocabulary building』（アカデミックな文章によく登場する難解語・哲学用語の理解習得）を通して構築してきた『思考のための知的枠組み』（思考・思想を理解するための背景知識）をベースにして、『国語総合Ⅱ』のクラスでは、国立大・難関私大・センター試験レベルの文章を題材に、あらゆる分野の文章を読み込み、そこから情報・思想・哲学をしっかりと学びとれるよう指導します。また、文章読解により得られた情報・考え方を、今後小論文を書くようになった時に、自分のネタとして活かせることを想定した授業もしてまいります。さらに、教育漢字・慣用句・ことわざ・四字熟語の知識補強もあわせて行います。

【数学Ⅰ・A】

中3数学と部分的に反復する単元があるため、効率よく「数Ⅰ・A」を学習していきます。高校1年生の範囲「数Ⅰ・A」を半年で終わらせ、来学期からは、高校2年生の「数Ⅱ・B」に繋がります。

日本の理系大学を帰国生として受験する際、数学、理科（物理・化学・生物・地理）が重要な教科の一つになります。それらのレベルは現地校のものとは比較にならず、日本の高等数学、各理科の科目の履修は必須です。受験勉強における時間的な負担も大幅に増えます。更に、学年相応の勉強をしていない受験に間に合わなくなるので、早期履修が要求されます。帰国生の理系受験は現実的には大変厳しいものとお考え下さい。

【数学Ⅱ・B】

中学数学、数Ⅰ・Aの履修を済ませ、理系受験を目指す生徒が対象です。

日本の理系大学を帰国生として受験する際、数学、理科（物理・化学・生物・地理）が重要な教科の一

つになります。それらのレベルは現地校のものとは比較ならず、日本の高等数学、各理科の科目の履修は必須です。受験勉強における時間的な負担も大幅に増えます。更に、学年相応の勉強をしていては受験に間に合わなくなるので、早期履修が要求されます。帰国生の理系受験は現実的には大変厳しいものとお考え下さい。

【化学】

前期は、理論化学、即ち、「原子の構造・周期表」、「化学結合」、「化学反応式とモル計算」、「酸と塩基」、「酸化と還元」、「電池と電気分解」、「熱化学」等について授業を行います。問題演習の解説を通じて、理論化学に必要な知識と計算方法のしっかりとした定着を図ります。

後期は、「有機化学」と「無機化学」についての知識事項を中心に授業を進めます。単なる暗記ではなく、日本の入試問題に適宜応用可能な有機・無機化学に対する深い理解力を養成します。

授業時間帯

科目	曜日	時間帯	授業分数/週
小論文インプット講座	火	19:30~21:00	各 80 分
小論文アウトプット講座	水	19:40~21:10	
TOEFL	火	19:30~21:00	80 分
SAT Reading	金	18:30~20:00	80 分
SAT Writing	火	18:20~19:20	60 分
SAT Math	水	18:35~19:35	60 分
国語総合 I	土	9:30~11:00	80 分
国語総合 II	土	11:10~12:40	80 分
数学 I・A	水	19:40~21:10	80 分
数学 II・B	土	9:30~11:00	80 分
化学	金	20:10~21:10	60 分

お問い合わせから入学まで

お問い合わせ

ena サンフランシスコ TEL (650)235-3410
FAX (650)235-3412
e-mail enasf@msn.com

体験授業申込書提出

申込書を FAX、e-mail、郵便で送るか、校舎窓口にお持ちください。
こちらから確認のお電話を差し上げます。

体験授業

筆記用具とノートをご用意ください。

履修クラス決定

体験授業を担当した講師と、相談させていただきます。

入学手続き

入学手続き書、個人調査票、諸規定（署名）の 3 枚の書類を提出してください。校舎窓口では、費用納入の必要はありません。入学金その他の費用について、後日請求書がご自宅に郵送されます。

ご帰国の場合は

ご帰国前に「変更届」の帰国連絡欄をご記入のうえ提出してください。日本国内の ena に転校される際、入学金免除、1 ヶ月授業料無料の特典があります。お近くの校舎を訪れる前に渋谷校国際部松嶋までご連絡ください。(TEL 03-3461-0511)

ena サンフランシスコ校 2013 年度規定

受講に関する諸規定

- (1) 2013 年度の授業は 2013 年 2 月より 2014 年 1 月までとなります。
- (2) ご住所、電話番号、メールアドレスなどに変更があった場合は、変更届をご提出下さい。
- (3) ご入学手続き後の体験授業は、その後受講されない場合は料金は発生しませんが、受講を継続される場合は、体験授業の分にも正規の授業料が発生します。
- (4) 月謝を滞納された場合、出席停止とさせていただきますこととございます。

以上の各点につきましてあらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

「変更届」の規定

- (1) 「変更届」を、前月 20 日までにご提出された場合に限り、該当月の①休学・②退学・③履修科目数の変更・④有料模試受験のキャンセル・⑤授業の欠席を受け付けます。
- (2) 期日を過ぎて提出された変更届、記入漏れのある変更届、保護者様のご署名のない変更届は無効です。
- (3) 月額授業料の按分計算が必要となった場合に限り、調整手数料として、1 回あたり US\$5 を請求いたします。
- (4) ena 講師、スタッフへのお電話・メール・FAX、または口頭のみでの変更連絡はトラブルのもととなりますので受け付けかねます。
- (5) 入学金、教材費、諸費については、例外なく調整はございません。

料金について

- (1) 月額授業料は年間授業料を等分した金額であり、授業回数による金額の調整はございません。
- (2) 模試費は、一括申込をした場合、割引がございます。
- (3) 講習料は月額授業料とは、別途に請求されます。

請求について

- (1) こちらからインボイスをお送りしますので、チェックでお支払い下さい。
- (2) ご帰国にあたり、あらかじめお支払いを済ませたい場合はご相談下さい。

上記について、ご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。



世界でも、日本国内でも子どもの学習をサポート



1710 S. Amphlett Blvd.,#120
San Mateo, CA 94402
TEL 650-235-3410
FAX 650-235-3412
enasf@msn.com

